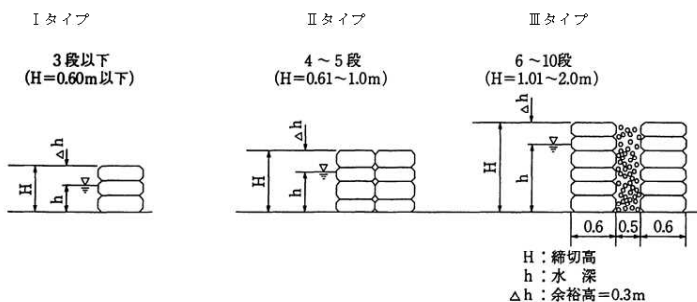
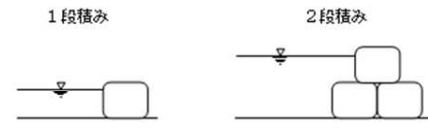
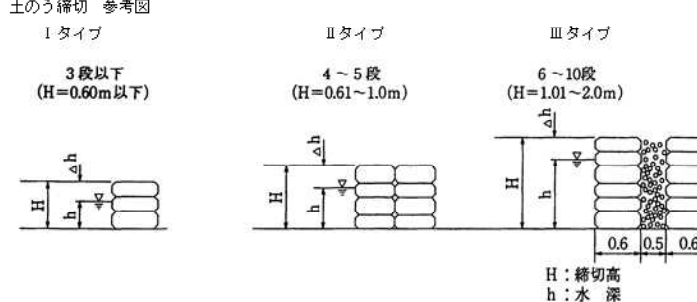
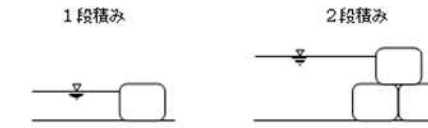


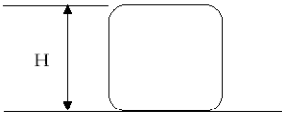


土木工事積算基準の **改定**・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）4月1日以降積算基準日適用）

| 区分 | ページ | 改定 | 現行 | 備考 |
|---------------------------|------|--|--|-----------------------------------|
| 共通編 105 仮設工 運用資料 | 仮設-9 | <p>105-120 土のう工</p> <p>1. 土のう締切 参考図</p> <p>Iタイプ IIタイプ IIIタイプ</p> <p>3段以下 (H=0.60m以下) 4～5段 (H=0.61～1.0m) 6～10段 (H=1.01～2.0m)</p>  <p>H：締切高 h：水深 Δh：余裕高=0.3m</p> <p>2. 大型土のう 留意事項</p> <p>1) 大型土のうは、<u>φ1100mm、高さ1100mm(耐候性)</u>を標準とし、<u>耐用年数については工程を考慮し、適切に選択すること。</u></p> <p>2) <u>転用回数</u>の制限はないが、<u>受注者の責によらない現場条件等</u>により、<u>転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。</u></p> <p>3) 使用回数は、工事数量総括表の摘要欄に明示し、必要に応じて設計変更すること。</p> <p>4) 移設については、設置歩掛を準用する。</p> <p>5) 数量は1個当たり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により算出する。</p> <p>1段積み 2段積み</p>  <p>6) 撤去後の袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。</p> <p>7) 中詰土は現地の有材を使用した場合のものであり、土砂が現地でない場合は別途考慮のこと。</p> | <p>105-120 土のう工</p> <p>1. 土のう締切 参考図</p> <p>Iタイプ IIタイプ IIIタイプ</p> <p>3段以下 (H=0.60m以下) 4～5段 (H=0.61～1.0m) 6～10段 (H=1.01～2.0m)</p>  <p>H：締切高 h：水深 Δh：余裕高=0.3m</p> <p>2. 大型土のう 留意事項</p> <p>1) 大型土のうは、φ1100mm、高さ1080mmを標準とする。</p> <p>2) 転用回数は1回(転用率100%)を標準とする。なお、現場条件により、転用回数を適宜増減することができる。</p> <p>(転用回数を増える場合)</p> <p>①陸上で使用する場合、②短期間使用する場合、③日陰で使用する場合等 (転用できないと判断できる場合)</p> <p>①重機足場として使用する場合、②設置後6ヶ月程度以上経過した場合等</p> <p>3) 使用回数は、工事数量総括表の摘要欄に明示し、必要に応じて設計変更すること。</p> <p>4) 移設については、設置歩掛を準用する。</p> <p>5) 数量は1個当たり1.10(幅)×1.08(高さ)により算出する。</p> <p>1段積み 2段積み</p>  <p>6) 撤去後の袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。</p> <p>7) 中詰土は現地の有材を使用した場合のものであり、土砂が現地でない場合は別途考慮のこと。</p> | <p>実態に 合わせ 取扱い 改定</p> |

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

| 区分 | ページ | 改定 | 現行 | 備考 |
|-------------------------|--------|--|---|-------------------------|
| 共通編 1.11.2 土のう締切工 | 共通-230 | <p>大型土のうタイプ (H=1.1m)</p>  <p>(注) 1. 62×48cmのポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m³とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 <u>3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については行程を考慮し適切に選択すること。</u> <u>4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。</u></p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">共通 - 230 -</p> | <p>大型土のうタイプ (H=1.08m)</p>  <p>(注) 1. 62×48cmのポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m³とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.10m(幅)×1.08m(高さ)により必要数量を算出する。</p> <p>(3) 転用回数区分 大型土のうの転用回数は次の区分とする。</p> <p>転用回数区分 </p> <p>(注) 1. 大型土のうの転用率は100%とする。 2. 大型土のうの使用回数はそれぞれ1回とするが、大型土のうについては以下の条件により使用回数を増減することができる。</p> <p>(転用回数を増できる場合) ・陸上で使用する場合 ・短期間使用する場合 ・日陰で使用する場合 等</p> <p>(転用できないと判断できる場合) ・重機足場として使用する場合 ・設置後6ヶ月程度以上経過した場合 等</p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">共通 230</p> | 実態に 合わせ 取扱い 改定 |